

助成者：	辻井 博	助成期間：	2015年4月～2018年3月（3年間）
所 属：	農村発展研究所 所長 ・ 京都大学名誉教授		

フィリピン世界遺産「イフガオの棚田」の稲作耕作放棄と 棚田崩壊をなくすための現地社会活動への支援

【活動場所】 フィリピン ルソン島 イフガオ州

【事業目的】 棚田農家の経済的・文化的・社会的な安定を確保し、高齢化した稲作従事者が若い世代へ継承できることが、棚田崩壊を無くすことに繋がると考え、社会支援活動を行う。

主な活動内容： 伝統米（赤米、紫米）とドジョウの自然農法連携生産と販売を復活・拡大させ、農家の所得を増大させることにより棚田生産の持続を可能にする

耕作放棄田の巨木伐採と整地



ドジョウ雌への排卵誘発剤



- 耕作放棄田を整地し復田させ、伝統米とドジョウの連携生産を増加
- ドジョウの稚魚を7戸の農家に購入（1万匹/戸強）、棚田へ投入
- ドジョウの孵化、飼育のシステム作り

その他 取組み

- 過剰伐採や焼畑による水源林の破壊抑制
- 水不足による農業用水の確保
- 農薬を使わず害虫駆除できる環境無害な方法と現状1季作から2季作へ戻す取り組み